

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
R202	教育方法学	2年	講義	2	遠藤忠
<b>授業概要</b> 中学校や高等学校における教育の目的・目標・内容が適切に実現することを目指した指導方法の基本的な在り方について講義する。					
<b>到達目標(学習の成果)</b> 1. 学習と教育の関係について理解する。 2. 教育目的・目標・教育内容と教育方法の関係について理解する。 3. 生徒指導、学業指導、教育評価と教育方法の関係について理解する。 4. 教材概念を理解し、情報技術を含めて教材の作成、利活用の基本的方法を習得する。 5. 教科指導と学級担任の仕事に興味関心を持つ。					
<b>授業計画</b>					
回	表題	学修内容			
1	教えるとは何か I	『学び』から教育を捉え、教えると学ぶとの関係について理解する。			
2	教えるとは何か II	教えるという行為の構造について。			
3	学習指導と生徒指導 I	学習指導と生徒指導の役割と指導内容について。			
4	学習指導と生徒指導 II	わが国の教育理念・目的が両者の調和を求めていることについて。			
5	教育目的と教育方法 I	目的を達成するためにどのように教えるか。「愛国心教育」を通して考えてみる。			
6	教育目的と教育方法 II	目的を達成するためにどのように教えるか。「体罰」を通して考えてみる。			
7	教材について I	「教材」とは何かについて理解する。			
8	教材について II	教科書教材について			
9	教材について III	「教材」を使ってみよう。教科書教材を使ってみる(ミニ模擬授業)。			
10	教材について IV	「教材」をつくってみよう。IT 利用を含め教科書にないものを作成、活用してみよう。			
11	学級で教える I	学校教育は学級を通して行われる。学級とは何か。			
12	学級で教える II	生徒の学習意欲をどのようにつくるか。学習環境としての人間関係づくり。			
13	教育評価 I	教育評価とは何か。指導要録と通信簿にみる教育評価の本質。			
14	教育評価 II	教育と学習を改善する教育評価の在り方について。			
15	今後の課題と展望	教科指導と学業指導の統合。			

準備学修(授業外の自己学修)

- 1.課された自習課題に取り組み授業に臨むこと。
- 2.授業時に取り上げた専門用語等については、参考書及びその他の専門書を通して理解を深めておくこと。
- 3.授業中に積極的に質問等ができるように準備しておくこと。

成績評価の方法・基準(%表記)

レポート(小レポートを含む)70%、及び授業態度 30%で総合的に評価する。

教科書

文部科学省『中学校学習指導要領』東山書房、244 円

文部科学省『生徒指導提要』教育図書、290 円

参考書等

なし

履修上の注意・学修支援

毎時の講義テーマを確認し、問題意識を持って受講すること。

質問等訊きたいことがあれば、授業担当まで早めに相談すること(endo@kyowa-u.ac.jp)。